



平成 26 年 8 月 6 日

各 位

会社名 ミヨシ油脂株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 堀尾容造  
 (コード番号 4404 東証一部)  
 問合せ先 取締役執行役員経理部長 山下史生  
 TEL (03) 3603 - 1149

平成 26 年 12 月期 第 2 四半期累計期間業績予想と実績との差異  
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 13 日の決算発表時に公表いたしました平成 26 年 12 月期 第 2 四半期累計期間(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。  
 また、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 12 月期 通期(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

1. 平成 26 年 12 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想と実績との差異(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)  
 (1) 平成 26 年 12 月期 第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	22,400	540	590	320	3円11銭
実 績 値 (B)	22,470	85	234	116	1円13銭
増 減 額 (B-A)	70	△455	△356	△204	
増 減 率 (%)	0.3	△84.3	△60.3	△63.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成 25 年 12 月期第2四半期)	21,707	662	705	480	4円67銭

- (2) 平成 26 年 12 月期 第 2 四半期累計期間 個別業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	21,000	540	580	310	3円01銭
実 績 値 (B)	21,113	92	220	103	1円01銭
増 減 額 (B-A)	113	△448	△360	△207	
増 減 率 (%)	0.5	△83.0	△62.1	△66.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成 25 年 12 月期第2四半期)	20,415	670	694	468	4円55銭

2. 平成 26 年 12 月期 通期 業績予想の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

（1）平成 26 年 12 月期 通期 連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	45,100	1,120	1,170	660	6円41銭
今回修正予想（B）	45,100	650	820	470	4円56銭
増減額（B-A）	—	△470	△350	△190	
増減率（%）	—	△42.0	△29.9	△28.8	
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 12 月期）	43,895	779	786	514	5円00銭

（2）平成 26 年 12 月期 通期 個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	42,100	1,100	1,140	640	6円21銭
今回修正予想（B）	42,200	650	780	440	4円27銭
増減額（B-A）	100	△450	△360	△200	
増減率（%）	0.2	△40.9	△31.6	△31.3	
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 12 月期）	41,193	784	734	465	4円52銭

3. 業績予想と実績との差異及び業績予想修正の理由

当第 2 四半期累計期間の業績につきましては、大手流通の低価格志向、円安による原材料価格の上昇により非常に厳しい環境で推移いたしました。このような状況のなか、当社グループは市場ニーズを的確に捉えた製品開発と販売活動を推進するとともに生産体制の効率化とコスト削減等の業務改善活動を推し進めました。

この結果、売上高は微増となりましたが、利益面では原材料価格に加えてユーティリティ費用等の上昇による影響を吸収することができず、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも予想数値を下回ることとなりました。

通期の業績予想につきましては、大手流通の低価格志向による競争の激化、さらに円安による原材料調達コストの上昇等により、今後も厳しい状況で推移するものと思われまます。このような事業環境のなか、経営全般にわたる更なるコスト削減を強力に推進してまいりますが、通期における営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも前回の予想を下回る見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上